

竹田インターン報告

ー竹田トマトジュースラベルデザイナーー

千葉大学 大学院
デザイン工学部
コミュニケーションデザイン
金奈英

目次

- 竹田トマト栽培の背景
- 竹田トマトジュースの背景
- 竹田トマトジュースの特徴
- 竹田トマトジュースの現況
- 竹田トマトジュースの販売計画
- トマトジュースのラベルの提案
- これからのパッケージの提案

竹田トマト栽培の背景

昭和43年恵良原地区で試作した事から始まり、
豊かな水と肥沃な高原などの自然の条件で有数の夏秋トマト生産地である。

竹田トマトジュースの背景

おいしいトマトなのに廃棄されるのが多い



もったいない



トマト加工品を造って行く



ケチャップ、ジュース、ジャム、ドライトマト

竹田トマトジュースの特徴

皮と種を抜け出したトマトそのままの無
添加・天然トマトジュース



竹田トマトジュースの現況

8月7日トマトちゃんで売り始めた。



竹田トマトジュースの販売計画

- 市内ー とまとちゃんでの販売
各生産者の販売ルート
道の駅や、アンテナショップ
市内旅館での朝食
お土産屋

- 市外ー 福岡百貨店(岩田屋)
東京の宇城市アンテナショップで

- 他ーホームページやパンフレットの作成
(県のくじゅうトマト街道との連帯)

着目点

- 包装は商品の顔であるのみならず企業イメージの確立のための重要な要素



- 竹田トマトジュースはラベルが未定



- 販売路を広げるためには、ラベルやパッケージが必要

トマトジュースのラベルデザインの提案



トマトジュースのラベルデザインの提案

55X65



トマトジュースのラベルデザインの提案

140X100



これからのパッケージの提案



omocha
Japanese style toy

海外にホームステイに行く日本人が、これからお世話になるホストファミリーにお土産として買って行く、日本の文化の詰まったおもちゃ箱。日本のおもちゃは見た目にも鮮やかで、またおもちゃという世界共通の文化において、持っていきば喜ばれること間違いなく、また遊んでコミュニケーションも取れる。箱も、飾られることを想定して、日本らしさを取り入れたパッケージデザインにした。

どんな「omocha」を、お近づきのしるしに持っていきたいと思いますか？



お近づきの前に、(お土産、お返し、贈答品など)を飾り、お土産が入っている。



お近づきをイメージしたデザイン。
ふたを開けると箱の内側が繋がっていて一枚の絵のように見える。



スライドしてふたを開ける、日本のしるしをイメージした。

「お近づき」、のおもてなし。
お近づきのしるしに日本のおもちゃを持っていきませんか？

これからのパッケージの提案

初販売とともに各新聞社、雑誌、各放送社などの記者を招待し、説明会と試食会を行い、おもてなしされた記者だちにいい印象を残すようにパッケージされたトマトシューズを渡す。



ご清聴ありがとうございます

千葉大学 大学院 工学部
コミュニケーションデザイン
金奈英